

各位

兵庫県還暦軟式野球連盟
会長 長尾 研司
理事長 安田 昭人

コロナ感染拡大とリーグ戦再開の中止について

暑中お見舞い申し上げます。いつも連盟の運営にご助力頂きありがとうございます。

6/1の第1回理事会で、コロナが沈静化しておれば、気候のよい9月からリーグ戦を再開すると決定し準備していましたが、依然とコロナ感染は拡大し続けております。緊急事態宣言は再発出されていませんが、兵庫県下においても今日現在、老若男女を問わず、第2波の感染者が増えている現状です。この現状を受けて、常任理事会メンバーで打合せの結果、

選手の健康と安心・安全を第一に、9月からの兵還連リーグ戦は再開せず中止することにしました。

8/21の第2回理事会も、40数名が集合すること自体が懸念され、会議中止とします。

今後、必要な連絡事項や通達は随時、メール・連盟ホームページにてお知らせしていきます。

12/10には第3回理事会を予定しています。

なお、各チームで独自に練習や練習試合をされる場合は、「ガイドライン」「審判部の注意事項」(別途送付資料)を参考に、ぜひとも感染者を出さないよう配慮の上で活動をしてください。

また、練習試合の審判員は当該チームで対応して下さい。当座、下記に注意して健康維持と協力を切に願います。

記

(注意とお願い)

- ① 咳や熱が出て、体調がすぐれない時は無理せず、休むこと。
- ② 消毒・手洗い・うがい・マスク着用を心がけ、体温測定を励行し、体調管理に努めること。
- ③ 不要不急の外出は避け、人が混雑する所、複数人で飲食する場へ出向かないこと。
- ④ 練習場等への移動には、極力、公共交通機関を利用せず、車を利用すること。
- ⑤ 公共施設である球場の、使用制限に注意すること。
- ⑥ 登録選手の感染が確認されたら、速やかに下記問い合わせ先に連絡を入れること
- ⑦ 緊急事態宣言が発出されたら、練習試合といえども中止すること。

上記の点を、チーム内連絡徹底の上、よろしくお願いします。

コロナ感染の収束と、皆様の変わらぬ健康を祈っております。

以上

* 本件の問い合わせ先

兵庫県還暦軟式野球連盟事務局 和住 賢治

住所：西宮市苦楽園2番町17-36

携帯：090-1448-0873 E-mail：wazumi-k@ace.ocn.ne.jp

兵庫県還暦軟式野球連盟

練習 及び 試合再開のガイドライン II

・・・ コロナ感染予防のため ・・・

- ◆ 各チームは、選手の健康と安全を第一に三密防止、及び、怪我防止、熱中症対策に努める。
- ◆ 次の場合は出場・参加を控えること
 - (ア)体調が良くない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - (イ)同居や身近な知人に新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合
 - (ウ)過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地等への渡航又は当該在住者と濃厚接触がある場合
- ① 練習時及び試合時は開始前と終了時に参加者全員の検温を行い、検温表等管理表を作成し管理する。
 - ☆ 選手の健康状態をチームとして把握することが望ましい。
- ② 練習時は選手同士の接触を避けるため、1 塁側・3 塁側のベンチに分かれ分散して行う。
- ③ ベンチにアルコール消毒液を配備し、ベンチに戻る都度に除菌する。
 - ☆ ベンチ内ではマスクの着用が望ましい。
- ④ 練習、また、試合時のミーティング・円陣等、集合時はソーシャルディスタンスを保って行う。
 - ☆ グランドへの行き帰り、また、日常の外出時もマスクの着用が望ましい。
 - ☆ 練習時も支障のない範囲では、マスクを着用する方が望ましい。
- ⑤ 車・バスでの遠征時は選手が触れる乗車口の手すりやシートベルト及びシート等の消毒を励行。
 - ☆ 乗用車の場合は1～2名での乗車が望ましい。
 - ☆ マイクロバスの場合は座席の間隔をあけて乗車するのが望ましい。
 - ☆ 乗車時は、マスクの着用とアルコール消毒液で除菌することが望ましい。
- ⑥ 練習時・試合時のハイタッチ・グウタッチ等、素手での接触はしない。
- ⑦ 球場内では唾・痰を吐く行為は厳禁とする。
- ⑧ 水分補給をこまめにとり、冷却用のタオルやスプレー等の熱中症対策を各自が施す。
 - ☆ 練習や試合時、少しでも気分が悪いと感じた時は、無理せず早めに休息を取り水分補給することが望ましい。
- ⑨ 試合時は、別に定める「審判員のガイドライン(試合における注意事項)」を厳守する。
- ⑩ 各球場に於いて、感染防止対策書等が提示されている場合はこれを厳守する。

緊急事態宣言解除後、第二波とも思えるほどに各都市で感染者が増加しております。

感染状況は異なりますが、チーム内でも他市から通われている選手も多数居られます。従って、各チームでこのガイドライン、及び、審判のガイドラインを基本として活動をお願いします。

※ 兵還連所属の選手からは、感染者を出さない。

※ 各自、日常生活においても手洗い、うがい、マスク着用を敢行し健康維持に努める。

※ 再度、緊急事態宣言が発令された時、また、感染状況が悪化した時は、直ちに活動を停止します。

以上

令和 2 年 8 月 6 日

兵庫県還暦軟式野球連盟

会 長 長 尾 研 司

理事長 安 田 昭 人

兵庫県還暦軟式野球連盟

審判員のガイドライン(試合における注意事項)

試合時における審判員が新型コロナウイルスによる感染防止、怪我防止、並びに熱中症予防のため次の事項を遵守し公正、公平な立場でプレー進行を行う。

1、試合前の準備

- ① 審判控室、又は、本部席のある場合は部屋の窓を全開にして換気をする。
- ② 怪我防止のため、マスクを着用し、間隔をとって軽くランニング、及び、ストレッチを行う。その際にグラウンドの状態を確認する。
- ③ メンバー交換表等は室外で受取る。
(密接を避けるため、会話は出来るだけ避けると共に審判員・監督はマスクを着用する。)
- ④ 確認後は、ベンチ前で相手チームのメンバー表を渡す。
(会話は出来るだけ避けると共に審判員はマスクを着用する)
- ⑤ 球審のマスクやプロテクターを除菌して装着する。
- ⑥ 両チームの試合道具の点検、確認は行わない。

2、試合開始にあたって

- ① 試合開始の挨拶は監督以下選手がそれぞれのベンチ前に整列し、審判はホームベース後で、両チームが確認できるところで位置し試合開始のコールをする。
- ② 開始挨拶後、監督・コーチ・スコアラー並びに選手はベンチ内ではマスクを着用し、ソーシャルディスタンスの間隔を取る。なお、ベンチが狭くて一定の間隔を保てない場合は、控え選手など当該試合関係者以外はスタンド等で待機すること。
また、出場選手もベンチ内にいる時はマスクの着用が望ましいことを促す。
- ③ 球審はマスクの着用が望ましいが、高温時には熱中症予防のため、マスクの着用は義務付けない。ただし、マウスシールドなどマスク以外で熱中症予防と感染症対策が可能な場合は実施すること。なお、塁審のマスクの着用は義務付けない。
- ④ ピッチャーのローゼンは両チームが用意し、試合中ピッチャーの後ろポケットに入れ、使い回しはしないことを告げる。

3、試合時の対応

- ① ボールはキャッチャーのミットに入れて渡す。(交換・ファール時も同様)
- ② 毎回、チェンジ毎にボールを交換する。
- ③ 球審への捕球ボールはボール袋に直接入れてもらう。
- ④ 試合中、熱中症予防のために、適宜給水タイムを入れること。(2～3回)
また、審判員は冷却剤やタオルを用意し、グラウンド内の隅に置いておくなど、特に、球審は水分補給に留意すること。
- ⑤ 試合時、選手の交代や守備位置の変更等を監督が球審に申し出るときは、マスクを着用するか、若しくはソーシャルディスタントを保ち告げる。但し、大声は出さない。
- ⑥ 試合時マウンド上で集まる時は、グラブを口に当てる。

4、試合終了にあたって

- ① 試合開始挨拶同様に参集、また、ベンチ前にソーシャルディスタンスを保ち整列して、球審はゲームセットをコールする。なお、握手等の接触はなきよう促す。
- ② 試合終了後、速やかに退場し、手洗い・アルコール等による手指の消毒を行う。

5、その他

- ① 車での移動にあたり、1名か2名での乗車が望ましい。(三密防止)
- ② 各球場で感染防止の指標が出されている場合は、それを厳守する。
- ③ 全選手が密集・密接する円陣や声出しは控えるよう促す。

令和2年8月6日

兵庫県還暦軟式野球連盟

理事長 安田 昭人

審判長 端 治彦